

平成30年度

第3回 第二期新温泉町立浜坂認定こども園

整備検討委員会会議録

(平成30年8月22日開催)

第二期新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会会議録

1 場所及び日時 平成30年8月22日(水)

午後3時00分～3時30分 最終候補地周辺

午後3時35分～4時45分 浜坂多目的集会施設 会議室

2 出席者

(構成員) 猪坂悦司委員長、中澤典男副委員長、陣在愛理委員、西村美幸委員、福田栄子委員、丸山茂樹委員、池成和幸委員、西村真理子委員、大田鈴子委員、西岡安雄委員、永井茉莉子委員、(欠席) 福原公一郎委員、今木逸平委員

(アドバイザー) 遠藤由美子鳥取環境大学副学長

(事務局) 岡田教育長、西村こども教育課長、吉田こども教育課課長補佐兼教育総務係長、浜田こども育成係長、中尾主査

(企画調整) 井上企画課長

3 傍聴者 0人

4 議 事

(1) 建替え最終候補地について

***** 最終候補地現地視察開始 午後3時00分 *****

***** 会議開始 午後3時35分 *****

○吉田課長補佐 本日は、福原委員と今木委員から欠席の連絡を、陣在委員からは遅れるとの連絡を受けております。現地視察から引き続きになりますが、只今から「第3回第二期新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会」を始めさせていただきます。開会にあたり岡田教育長が挨拶を申し上げます。

○岡田教育長 暑い中、ご多用の中をお集まりいただきありがとうございます。今日は、先ほど現地を見ていただいた中で、建替え候補地の中身を詰めていければと思っております。第2回の会議を受けて、該当の地権者へ説明をさせていただいております。後ほど事務局から説明があろうかと思っております。候補地の選定が更に進みますよう委員の皆様のお力をお貸しいただきたいと思っております。

- 吉田課長補佐 続きまして猪坂委員長お願いいたします。
- 猪坂委員長 暑い中、お疲れ様です。先ほどは現地でいろいろな説明を聞く中でいろいろな思いも出てきたのではないかと思います。忌憚りの無い意見を出していただき、反映させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
- 吉田課長補佐 続きまして、お盆前に地権者の方と面談をしておりますのでその状況をご説明させていただきます。資料の2枚目に航空写真をご覧ください。A案とB案とにそれぞれ地権者が3名、合わせて6名の地権者にお会いしております。全ての地権者から候補地として公表することに同意をいただいております。これを受けまして9月の総務教育常任委員会の資料提出し公開となる予定で進めております。ただし、その前段の一般質問で質問を受けた場合はそのときに回答しますので、少し公開が早まる可能性もあります。6名の地権者の反応につきましては、実際の売買になった場合にはそれぞれの考え方の違いが出てくるのかなという印象を受けております。A案、B案それぞれに地権者の考え方に差があるように感じました。10月以降、第3者機関による土地の評価額の算定を行いまして、具体的な交渉を行うことになるわけですが、場合によっては難しい交渉になる可能性もありますので、そのことも踏まえて候補地を絞り込む必要があると考えております。
- 以降の進行につきましては猪坂委員長の方でよろしくお願いいたします。
- 猪坂委員長 A案、B案の2案あるわけですが、皆さんのほうでお聞きしたいこと、お気づきのことがありましたらどなたからでも結構です。ご意見をお願いしたいと思います。購入地との取り付けでいえば、B案は水路があるので、A案のほうが取り付けしやすいように思いました。
- 委員 それぞれに気になるところ、良いところがある。A案では図書館が近いので文教的なエリアになるように思うが、避難場所がユートピアとなると途中で浸水しやすい場所があることが気になる。遊戯室横の駐車場から郵便局へ向かう角に建物があって見通しが悪い。通園で車が増えると気になる。
- 委員 通園にも使うことになる。一般の方も使う。道路の幅はどうなんでしょう。
- 中尾主査 道路の拡張は現段階では考えていない。
- 猪坂委員長 今後、通園でマイクロバスを使うようなことも考えられる。その中でこの幅員は厳しいような気がする。郵便局前でも厳しいような気がする。園の周りは特に余裕を持たせたほうが良いように思う。

- 委員 別の場所に避難するのは小さい子は難しいので、同じ敷地内に避難場所を確保して欲しい。道路の問題ではA案は現状では狭すぎる。
- 委員 駐車場がどの程度確保できるのか。もし統合となったときのことも考えると十分な台数を確保する必要がある。敷地面積が厳しければ立体とか、屋上とかも考えられる。今でもナカケーさんから苦情が入る。
- 猪坂委員長 ゆめっこでは、運動会などで道路に駐車するので警察から移動の連絡が入る。駐車場の確保は気になる部分ですが、イベント時には、図書館とかナカケーさんとかに協力いただくということもあるのかと思う。
- 委員 駐車場はどのように考えているのか。
- 吉田課長補佐 前回の会議で選定方針を確認していただきました。敷地は5,700㎡以上ということでその中には40台分の駐車スペースも入っている。今回の2案で狭いB案でも現在地と合わせて約6,500㎡で、800㎡余裕があるということになります。それなりの駐車スペースは確保できると考えています。
- 委員 現在は駐車場から入口へ歩いていくが、その間が車の往来で危ない。駐車場から入口へのアクセスを考慮して欲しい。
- 委員 洪水が気になる。道路の嵩上げも考えて欲しい。
- 委員 道路の面でB案のほうが良いと思う。海拔や浸水の面でも同様。水路があるがそれは設計でどうにでもなる。
- 委員 B案は水路が深かったが、安全対策をしっかりしてもらえたら、B案のほうが、見通しが良くアクセスしやすいように思う。嵩上げするとスロープになると思うが傾斜が気になる。駐車場は広めで入口に近いほうが良い。
- 委員 A案だと道路幅が狭く見通しが悪い。道が狭いと事故を起こしやすい。B案でもバスの運行を考えるとそれなりの駐車場が必要だと思う。遊戯室横の駐車場はどここの所有ですか。
- 中尾主査 町の所有です。
- 委員 車庫はどうですか。
- 中尾主査 両サイドで別々の地権者がいます。北側の建物は今回の購入に入っています。角の建物は今回の購入には入っていませんので、見通しは悪いままになります。
- 委員 先ずは工事にかかることになる。工事車両の出入りも考える必要がある。
- 委員 B案で嵩上げをする場合、何メートルか控えてしないと道幅が狭く感じることに

なる。もう少し購入面積を広く取れないか。

○猪坂委員長 皆さんの意見をお聞きしました。ここで遠藤先生のご意見をお聞きしたい
と思います。

○遠藤先生 大きく考えると園舎のボリュームと園庭のボリュームになるが、敷地的に
考えると北側に園舎ということになるので、A案ということになる。ただ、周辺の条
件を考えると、工事車両の関係だけでも道路の関係でA案だと混乱を招きそうである。
通園時の駐車場の配置は園舎に近いほうが良い。イベント時に対応した駐車場となる
と普段はデッドスペースになるので、周辺に協力をいただいてということが現実的で
ある。管理用車両の進入路をどうするのか、工事期間中の車両の出入りをどうするの
か、ということも考える必要がある。計画はどのようにでも出来るが、今問題なのは
工事中的こと、洪水のこと。道路の広さ、海拔の高さを考えるとB案かなと思う。

○猪坂委員長 当初から嵩上げするという話がありましたが、私は園庭も上げると思っ
ていましたが、園庭はそのままということですか。

○吉田課長補佐 洪水対策として嵩上げを行うことで、園舎が水の浸からないというこ
を前提になる。今回買い増しする土地をより嵩上げしてそこに園舎を建てるというこ
とを考えており、現園舎は取り壊して園庭にするが現在の高さでということ考えて
いる。

○遠藤先生 洪水が起こるようなときには園庭には誰もいないという前提ですね。段差が
出来るわけですが、都市部では敷地が狭くて、段差のある土地を工夫するケースがあ
る。私の経験ですが、屋上からダンボールで滑り降りるような設計をしたことがある。
段差が決して悪いわけではない。面白いことになる可能性がある。ただし、水路を挟
んだ場合は落ちる危険がないように安全対策は必要。

○猪坂委員長 段差の件はいかがですか。

○委員 段差は賛成。子どもにとって楽しい遊び場になると思う。水路にはカエルがいた
りして自然がある。全部に蓋をすることはどうかと思う。

○中尾主査 今でも園庭と園舎にも50cm程度の段差があるので、それが1mになるという
ことで、横に長いもので園舎に繋ぐイメージです。

○猪坂委員長 からだの不自由な方が来られた場合に段差をどう考えるのか。

○中尾主査 基本的にこういった施設はバリアフリーが義務。そうした人に配慮した施設
を考える必要がある。スロープの勾配も決まっている。

- 委員 今の園舎でも段差がありますし、使い方の問題だと思う。写真を撮るときに段差が便利だったりする。現在は入口だけが急なので車椅子やベビーカーが入りにくかったりしますが、設計で考えていただければと思います。危ないものを全て取り除くことが良いとは限らない。上手に活用していけばよいと思う。
- 遠藤先生 スロープの勾配は法律で決まっているので、急なものにはならない。
- 西村課長 何人か意見の中にバスが出ていたが、現在地でバスは出していないので、今回の候補地に決まった場合、バスの運行は予定していません。これまで、浜中やすこやか広場が候補地に挙がったときに安全面でバスの議論はありましたが、現在地でないのでバスの運行は予定していません。
- 委員 将来的には1つにしたらどうかという話にもなるので、バスの事は考えておく必要があると思う。
- 岡田教育長 大庭も同じような時期に建てられていますので老朽化が進んでいる状況にあります。ただ、両方同時にはできないという状況があります。来年には消費税増税の関係で保育料の無償化が予定されており、ニーズが増えることが見込まれている。大庭は耐震診断を予定しているが、より進んでいる浜坂認定こども園の整備を優先して進めていくという考えであります。また、洪水対策の面でも浜坂を優先すべきと考えています。ただ、バスのことは考えないということではなく、敷地全てを嵩上げするのではなくバスや送迎車のことも考慮した設計にすべきだと考えます。
- 猪坂委員長 将来的な部分でバスのことを考える必要があるという思いで私も発言させていただきました。当初ゆめっこは、湯区にはバスは走らないということでしたが、今は走っています。先のことを考えないといけない。
- 吉田課長補佐 ゆめっこの通園バスの何台かと大庭の通園バスが老朽化していて更新を考えている。現状マイクロバスであるが、現在の園児数から15人乗りを改造したものに更新する予定。今後の通園バスはマイクロバスではなくなる。
- 委員 町民バスのバス停が園の前にある。バスの排気ガスが出るところを保護者と園児が通る。凄いいおいがする。安全面も考慮してバス停を配慮して欲しい。
- 吉田課長補佐 新しい園舎を建てる時に配慮することは可能です。
- 委員 A案とB案が出ているが、車の出入りやバスの件を考えるとこれ以上に土地を買うということは考えられないのか。
- 西村課長 遠藤先生から送迎時とイベント時との話がありました。イベント時は年間1

0日程度ということですが。広大な駐車場を確保するという事は平常時にはデッドスペースとなるので、効率性を加味する必要がある。

○委員 園児の送迎をしているが、私は困ったことが無い。混雑は時間帯によると思う。

○委員 今の台数では困るということ。

○中尾主査 前回の資料で新園舎の構想として駐車場は40台をみている。これが全体で5,700㎡なので、狭いB案でも6,500㎡と800㎡余裕がある状況です。

○遠藤先生 大きな施設が建つときは、路線バスの駐車スペースを設けたりする。全体の計画の中で対応は可能だと考える。

○猪坂委員長 B案で考えたときに、道路面と2mの段差が出来る。コーナーの部分は駐車場にして見通しを良くするという意見が出ている。園の出入口はどこになるかはわからないので、全体像が想像しにくい。基本的には安全ということを最優先で考えていきたい。

○委員 今までに洪水で浸かったのはA案とB案ではどちらが多いか。

○委員 道路としてはB案のほうが多い。

○猪坂委員長 海拔で見るとA案のほうが20cm低い。洪水というのは津波と違って突然には来ません。時間がありますのでその辺も考慮していただければと思います。

皆さんの意見を聞かせていただきましたが、何か言い忘れていたことはありませんか。

○岡田教育長 農業用水路がありますので、農会や関係行政機関との調整が必要になることも考えられますので、事務局で確認をさせていただこうと思います。

○猪坂委員長 A案とB案があるわけですが、皆さんからいろいろなご意見をいただきました。これらを事務局の方で整理していただいて、地権者への対応も含めて進めていただくということになると思います。

○委員 A案の場合、見通しの悪い角の建物を購入するということは出来ないのでしょうか。道路を広げることもできる。

○猪坂委員長 A案についてはそこがネックになっていると思います。

○委員 今の園庭と園舎の場所が園庭になるということでしょうか。一部が駐車場になるのでしょうか。

○中尾主査 そういうことも考えられます。今後詰めていくことにはなりますが、全体の中で駐車場を確保していくことにはなります。

○委員 設計の段階には園で働いている先生方の意見も聞いていただきたい。

- 委員 第一期のときに、先生や保護者からアンケートをとっている。2年くらい前にはなりますが。
- 遠藤先生 これまで幼稚園2件の設計を行ったが、もちろん現場の先生の意見を聞きますが、管理の関係で安全側に話が行ってしなう。設計者はそこらを「ソフトの部分で保管可能」とか調整しながらバランスをとることになる。意見を聞くだけなら設計士は要らない。設計士は使い方をこだわる。子どものためを考える。「思いも寄らない面白い場所が出来たな」という期待を持っていただきたい。私自身も先生には反対されたが、子どもが回遊できるスペースを作った。子どもは楽しんで遊んでいる。いろいろな意見を出し、しっかり議論する必要はある。
- 猪坂委員長 時間の方もそれなりの時間になってきております。他に意見が無いようでしたら閉めさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。4. その他ですが、事務局のほうで何かありますか。
- 吉田課長補佐 特にありません。
- 猪坂委員長 次回の開催についてお願いいたします。
- 吉田課長補佐 これまで月1回開催してきたわけですが、9月が議会月ということもあり、日程調整が難しい状況です。また、土地の評価が出るのが11月頃を予定していることもあり、それを受けて地権者と協議するまで集まっていただく必要があるのかなと思っております。ですので、しばらく間を開けさせていただいてお集まりいただきたいと考えております。ただ、間が空きますので、視察に適した施設があればその間にお集まりいただき視察を行えばとも考えておりますが、現時点で視察候補地がありませんので、見つければということでご理解をお願いいたします。具体的には改めてご連絡させていただくということで今日のところはご了承願います。
- 猪坂委員長 閉会の挨拶を中澤副委員長にお願いします。
- 中澤副委員長 本日は大変暑い中お集まりいただきありがとうございました。今日協議した内容を事務局で整理していただき地権者に当てさせていただき、結果を聞かせていただくということで、当面の間会議は無いようですが、11月頃には皆さんに会議のご案内をしますのでよろしくをお願いいたします。本日はご苦労様でした。

閉会 午後4時45分
